

学位授与番号：甲 1 0 3 5 号

氏 名：渡邊 隆将

学位の種類：博士（医学）

学位授与日付：平成 29 年 2 月 22 日

学位論文名：

**Evaluation of the diabetes chronic-care system in Japanese clinics**

学位論文名（翻訳）：

（糖尿病慢性疾患ケアシステムの日本のクリニックにおける評価）

学位審査委員長：教授 柳澤裕之

学位審査委員：教授 岩楯公晴 教授 宇都宮一典

# 論 文 要 旨

|        |       |            |
|--------|-------|------------|
| 論文提出者名 | 渡邊 隆将 | 指導教授：松島 雅人 |
|--------|-------|------------|

## 主論文題名

Evaluation of the diabetes chronic-care system in Japanese clinics  
(糖尿病慢性疾患ケアシステムの日本のクリニックにおける評価)

## 著者名

Watanabe Takamasa, Matsushima Masato, Nagata Takuya, Tominaga Tomokazu,  
Yokoyama Hiroki, Fujinuma Yasuki.

## 雑誌

Jikeikai Medical Journal 2016; 63

**【目的】**本研究は、日本のプライマリ・ケアのクリニックにおける糖尿病慢性疾患ケアシステムの現状を明らかにし、糖尿病専門医と家庭医を対比させることで、改善のための要因を明らかにすることを目的としている。

**【方法】**Assessment of Chronic Illness Care (ACIC) という質問紙の日本語版を作成し、26 の家庭医のクリニックと、比較対照として質が担保された糖尿病専門医の研究グループに所属する 40 のクリニックを調査した。

**【結果】**回答率は、家庭医の 85%、糖尿病専門医の 88%であった。ACIC スコア (0~11 点で評価) は、家族医=3.87 と糖尿病専門医=6.41 ( $P < 0.0001$ )の間で有意に異なっていた。その違いは、「組織化された慢性疾患ケアの提供」と「診療の意思決定支援」の領域で顕著であった。両群ともに最低スコアは「地域との連携」の領域であった。

**【結論】**「組織化された慢性疾患ケアの提供」と「診療の意思決定支援」は家庭医にとって重要な領域である。家庭医、糖尿病専門医の両者ともに「地域との連携」については改善する必要がある。

## 学位審査の結果の要旨

渡邊隆将氏学位論文は、和文タイトル「糖尿病慢性疾患ケアシステムの日本のクリニックにおける評価」と題され、Jikei Medical Journal 誌、2016年63巻に掲載された論文であり松島雅人教授の指導によるものです。

研究内容を要約すると、本研究は、日本のプライマリケアクリニックにおける糖尿病ケアシステムの現状を明らかにし、糖尿病専門医と家庭医を比較することで、ケアの改善要因を見出すことを目的とした。

質問紙 Assessment of Chronic Illness Care (ACIC) の日本語版を作成し、家庭医 26 クリニックと、質が担保された糖尿病専門医 40 クリニックを調査した。回答率は、家庭医群 85%、糖尿病専門医群 88%であった。ACIC スコア (0~11 点で評価) は、家庭医群=3.87、糖尿病専門医群=6.41 ( $P < 0.0001$ )であり、糖尿病専門医群で有意に高かった。特に、「組織化された慢性疾患ケアの提供」と「診療の意思決定支援」で糖尿病専門医群が高かった。両群ともに「地域との連携」は最低スコアであった。

家庭医群で低スコアであった「組織化された慢性疾患ケアの提供」と「診療の意思決定支援」、家庭医群、糖尿病専門医群共に低スコアであった「地域との連携」については早急に改善する必要がある。

学位審査は 2017 年 2 月 3 日、岩楯公晴教授と宇都宮一典教授のご出席のもとに公開で行われました。席上以下の質問がありました。①Chronic care model (CCM)は慢性疾患のケアの質を高めるための model と考えて良いのか。②ACIC は CCM がどの程度導入されているかを調べるためのアンケート調査票と考えて良いのか。③研究に糖尿病を選んだのはなぜか。④アンケート調査票の中の「組織化された慢性疾患ケアの提供」、「診療の意思決定支援」について、もっと分かり易く説明して下さい。⑤アメリカのシステムを評価する指標をそのまま日本に持ち込んで良いのか。⑥アメリカと日本の医療制度に違いが結果に影響していないか。⑦糖尿病専門医群でも開業医と勤務医でスコアが異なるのではないかと。など多数ありましたが、渡邊隆将氏はこれらの質問に的確に回答しました。

学位審査委員会は慎重審議の結果、「糖尿病慢性疾患ケアシステムの日本のクリニックにおける評価」と題された本論文は、日本のクリニックにおける糖尿病ケアシステムの現状を調査し問題点を指摘することにより、今後糖尿病ケアシステムを改善しようとするものであり、学位申請論文として十分価値あるものとして認めました。